

平成二十七年二月の作品（二月一三日（金））

於 文京区民センター 3階E会議室

涅槃絵の中に入りたるごとくゐる （一江）

梅が香や並びて登る女坂 （隆治）

坂道を足音軽く春隣 （正雄）

友人の不意の訃報や凍る朝 （貴美）

建国日古事記の世界想ひをり （奉男）

山深く隠るる谷の雪崩音 （前歩）

真打の落語に和む寒の内 （孝昭）

永き日や久しぶりなる子らの声 （太郎）

バイオテクノロジー

春光や蚕の糸に夢の技 （正佳）

寒椿挿して一輪織部かな （平六）